秋田県障害者スポーツ指導者協議会
広報 チャレンジ!

平成24年3月末日発行
秋田県障害者スポーツ指導者協議会
〒010-0922
秋田市旭北栄町１番５号
（秋田県社会福祉会館内）
TEL　018-864-2750
FAX　018-874-9467
E-mail：shidousha@akita-sports.jp

第2回　実技研修会

“ボッチャ競技”体験と審判講習会開催

寒さが厳しさを増した11月26日(土)に平成23年度第２回実技研修会を秋田県勤労身体障害者スポーツセンターで開催しました。

今回は「ボッチャ」競技を対象とし、体験と審判講習会の同時研修会となりました。

講師に、日本ボッチャ協会の理事長であります古賀稔啓氏、事務局長の渡辺美佐子氏をお迎えし、ご指導を受けました。

午前中は、古賀稔啓氏によるは「ボッチャ」についての講義で、重度脳性麻痺者や四股重度機能障害者のために考案されたスポーツ競技であり、常に改善や工夫が繰り返されているとのお話がありました。

午後からは、渡辺美佐子氏から実技指導を受けました。国際ボッチャ競技規則第10版のルール・コートの設営、使用する道具審判員のジェスチャー等を学びました。

参加者からの質問に渡辺講師はその都度、わかりやすい的確な回答をされていたことが印象的でした。

実践では、競技者として脊髄損傷連合会秋田支部会員の皆様の協力を得、ボッチャ競技の体験と審判の技術を習得することができました。

その１週間後の12月４日(日)第１回秋田県ボッチャ競技大会が秋田市で開催され、４名の会員が審判員、競技補助員として活動しました。

平成23年度　総会＆第１回 実技研修会開催

23年度の総会は、４月29日(金)の理事会を経て、５月８日(日)「秋田県心身障害者総合福祉センター」において開催しました。

はじめに、平成23年３月11日に発生した「東日本大震災」で死亡された方々のご冥福と、被災地の１日も早い復興の願いを米山会長が述べられました。

議案に入り事業報告、収支決算書、事業計画(案)収支予算(案)と進められそれぞれ承認されました。

総会終了後、新年度第１回実技研修会が、同会場体育館で会員の高橋次男氏（秋田市スポーツ推進委員）に講師をお願いして、ユニカールの指導を受けました。

ユニカールとは【ユニバーサル・カーリング】の略語で、カーリングをシーズンオフに楽しもうとスウエーデンで考案され、競技方法は３人対３人（１人対１人でもできる）で試合を行い、交互にストーンを投げ、これを６回繰り返してその合計得点を競います。ストーンの持ち方、投げ方など指導を受けましたが、初めて体験する参加者はねらいを定めるのに苦戦していました。ユニカールは力よりも作戦が重視されていると聞きました。コツを習得すれば、ルールはシンプルで腕力に自信のない方、車椅子を使用している方やその他、幅広く十分にプレーが楽しめるスポーツと感じました。

秋田県障害者スポーツ協会設立10周年記念式典 開催

「感謝状」を受賞

11月18日(金)秋田県障害者スポーツ協会は、設立から10周年を迎え、秋田市のホテルを会場に記念式典及び祝賀会が開催されました。

はじめに、秋田県障害者スポーツ協会菅原三朗会長の式辞に引き続き、協会の事業に対して協力された17団体及び個人の方々８名に感謝状が贈られました。

当協議会でも、協会の事業に積極的に協力、活動した事が認められこの度の受賞となりました。

個人では、スポーツコーチとして永年、初級障害者スポーツ指導員養成講習会の講師としてつとめられました、会員　大友貞行氏が受賞されました。

第11回 全国障害者スポーツ大会「おいでませ山口大会」

平成23年10月22日から24日までの３日間、山口県に於いて「たちあがれ！東北　がんばろう日本！」を合言葉のもと第11回全国障害者スポーツ大会「おいでませ山口大会」が開催されました。

本大会は、障害のある選手が競技を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的として開催される国内最大の障害者スポーツの祭典でもあります。

秋田県選手団は８競技に92名の選手、役員が参加しました。今回の成績は日頃の練習の成果でもあり、金メダル８個、銀メダル８個、銅メダル５個と輝かしい成績を収めています。

当協議会会員５名は、それぞれ各競技に役員として参加し、６月から開始された強化練習には選手と共に汗を流し大会に向けました

選手の皆さんが、あの大きな舞台で見せてくれた、笑顔・涙・輝く汗その貴重な体験を生かし、目標に向かって更なるレベルアップを図り活躍されますことを願っております。

来年度は岐阜県で”輝け・はばたけ・だれでも主役”「岐阜清流大会」が開催されます

当協議会ではこれからも障害者スポーツの振興に寄与出来ますよう、協力して参りたいと思っております。

障害者スポーツ教室

「卓球バレー指導者として参加」

秋田県障害者スポーツ指導者協議会　黒　澤　英　章

県障害者スポーツ協会主催の県北地区障害者スポーツ教室「卓球バレー」は６月、北秋田地区（鷹巣体育館）７月は能代山本地区（能代市総合体育館）大館鹿角地区（大館市樹海体育館）でそれぞれ開催されました。

昨年度、今年度と２年間指導者として参加させて頂きました。参加した人たちは３地区とも、昨年もこの教室に参加しており殆どの人達がルールを忘れずに覚えていて下さったのがとても嬉しく感じました。

特に嬉しかったのが、藤里町で障害者の方達が今では「卓球バレー」に親しんでおられると伺い、卓球バレーの普及にいくらかでも役だったのかなと感じて来ました。日頃スポーツで汗をかく機会が少ないと思われる障害者の皆さんが、この日は幾らかでも心地よい汗を流して下さったのではないかと思っております。又この様な機会を通して異なる障害の方達の交流が図られ、更なる発展をされるよう望んでおります。

今後とも「障害者スポーツ教室」が各地区で盛んになり、参加人数が増加するよう、機会がありましたら微力ながら力添えをして行きたいと考えております。

会員の活動・体験報告

知的障害者バスケットボール競技北海道・東北ブロック予選大会

秋田県障害者スポーツ指導者協議会　戸　松　保　美

平成23年６月11日から12日にかけて秋田市市立体育館を会場に、第11回全国障害者スポーツ大会知的障害者バスケットボール競技の北海道・東北ブロック予選会が開催された。昨年の３月に発生した東日本大震災の影響により残念ながら参加を辞退したチームもある中、男女とも札幌市、仙台市、岩手県、秋田県の代表四チームが参加市山口県で行われた全国大会への出場権をかけた熱戦が開催された。私も秋田県障害者スポーツ指導者協議会のメンバー５名とともに２日間に渡り競技協力員として運営をサポートした。

初日、男子では秋田県と札幌市がともに準決勝を100点ゲームで勝ち上がり決勝進出を決め、女子では秋田県と岩手県が着実に得点を重ね決勝進出を決めた。大会２日目は男女とも安定した力を発揮した秋田県が優勝しアベックで全国大会への出場権を獲得した。その他の成績は男子は札幌市が２位、岩手県３位女子は岩手県２位、札幌市３位という結果で大会の幕を閉じた。

大会を通じバスケットボールという競技において真剣に取り込む姿はスピーディな試合展開とともに40分間の試合の間コートに引き込まれ見入ってしまうほどでした。

次回もまた多くの当協議会のメンバーと共に協力していきたいと思います。

最後に、この度の震災により参加できなかったチームと地域の一日も早い復興と各チームのますますの発展を願い、また全国大会出場チームの活躍をご期待いたしております。

東日本オープンサウンドテーブルテニス秋田大会

ＳＴＴ選手　秋田に集う

＊＊＊＊＊＊　＊　＊　＊　＊

視覚障害者の卓球競技「サウンドテーブルテニス」（STT）東日本オープン大会が９月10日（土）～11日（日）の両日、秋田県心身障害者総合福祉センターに於いて開催されました。

全国、14都道県から約70名が参加し、音を頼りに熱戦が繰り広げられました。秋田県STTクラブの長澤源一会長は「全国の仲間と交流を深め、秋田から元気を発信したい」と述べておられました。

当障害者スポーツ指導者協議会は10名の会員が、STT公認審判員やポールパーソン、介助員として２日間参加、協力しました

尚、本大会は秋田県障害者スポーツ協会とSTTクラブの主催で両団体、設立10周年記念事業の一環でもありました。

功労賞を受賞　ありがとうございました

秋田県障害者スポーツ指導者協議会 監事　進　藤　雄　一

日障協 鳥原光憲会長と進藤雄一氏

この度、秋田県障害者スポーツ協会様の推薦により、平成23年度、公益財団法人日本障害者スポーツ協会功労賞の授与を受けました。

これまで沢山の方々のご指導、ご協力を頂き今日まで楽しく障害者スポーツを続けてくることができました。

障害者にとってスポーツをすることの意義は誠に大きなものがあると考えております。

スポーツをすることで、できないと思っていたことがいともたやすく超えることができるものです。

それより日常の活動範囲が広がったり、より沢山の方々と知り合う機会が多くなり、今までなかった自分自身を発見できたりすることです。

県障害者スポーツ協会、県障害者スポーツ指導者協議会、障害者スポーツにかかわる沢山の皆様のおかげで受賞することができましたことに、心よりお礼申し上げ、今後もより一層の障害者スポーツに、ご理解とご協力をお願い致します。

体操 ＆ 卓球バレー ふれあい講習会

みんなで体操、1・2・3

平成23年10月1日（土）、秋田県心身障害者総合福祉センターで、当障害者スポーツ指導者協議会主催で、「体操＆卓球バレーふれあい講習会」を開催しました。

高次脳機能障がい者当事者会と、ご家族の方たち15人が参加し、指導員７名と、みんなで体操１・２・３――、カセットテープから流れる号令に合わせスタートしました。メニューが豊富で楽しい体操となりました。

後半は「卓球バレー」を行いました。参加者の方たちは初めて体験する種目でしたが、この競技はレクリエーション的要素が強く初心者でも、十分楽しめるため講習会後半には皆でゲームを行い、参加者の笑みのなかに、爽やかな汗で無事修了しました。参加した佐藤めぐみさんは「今後もこのような機会がほしい」と話をしていました。

当協議会としても、この度の活動を貴重な体験として、これからもスキルアップを図りながら活動の場を広げて行きたいと思います。

私と障害者のスポーツ

秋田県障害者スポーツ指導者協議会　斎　藤　捨　巳

“広報あきた”を捲っていたら「障害者スポーツ指導員講習会」受講者募集が目に留まった。私と障害者との接点は特にないが、加入しているスポーツ吹き矢という団体に障害者サポート部が設置されており、多数の障害者が全国大会等を通じ楽しんでいる。こんな事から受講を機に私にも役に立つことが有りはしまいかと考え申し込んだのだった。

受付には多くの若者が集い歳60後半の私には、場違いと悔やんだが後の祭り。３日間我慢しようと腹をくくって開講を待った。

ところが、配布されたテキストを見てその危惧は大きな期待へと変わった。私が知りたかった事、教えて欲しかったものがその中に満ちていたからである。“障害者の理解と理念”などなど。３日間の講習は毎日目からうろこで、あっという間に終えた。

受講を終え早４ヶ月、指導教本と講習会のテキストを読み返し、自分に何が出来るか自問自答しながら、まずは今春から障害者のスポーツの援助(補助・支援)活動に積極的に参加し、障害者を理解することに重点を置きつつ、指導者協議会の仲間との出会いも大切にして行きたいなど、夢を追っている今日この頃である。

会員のみなさま

クラブよりお願いです

サウンドテーブルテニス　会長
長澤　源一

ＳＴＴとは、サウンドテーブルテニスの略称で、視覚障害者が音を頼りに競技する卓球のことです。このスポーツを秋田県内に普及すべく、ここ数年、障害者スポーツ指導者協議会や地元のボランティアさんの協力を得ながら、各地で普及啓発活動を行っております

今年も数箇所の地区で開催することになっていますが、今後の活動の充実、継続を図るために競技ルールを学びながら、練習のお手伝いをして頂ける人を探しております。

ひとりでも多くの方に是非一度練習会場までお出かけ頂ければと願っております。

☞ 連絡先：秋田県サウンドテーブルテニスクラブ
090－1063－9906　長澤

事務局からのご連絡

●平成24年２月24日(金)東北ブロック障害者スポーツ連絡協議会　事務局（会計）の福島県障害者スポーツ協会は、23年度東北ブロック連絡協議会総会を福島市の杉妻会館で開催しました。
役員改選に伴い、規約により会長、副会長、監事、会計が新たに選任、委嘱されました。秋田県からは会長に当協議会会長　米山隆氏、監査に秋田県障害者スポーツ協会事務局長、会計（事務局）については秋田県障害者スポーツ指導者協議会が選任されました。

●平成23年度会費納入についてのお願い
すでにご案内させて頂いておりますが、平成23年度の年会費（1,000円）納入期限が過ぎております。
未納の方は、速やかに納入して頂きたく宜しくお願い申し上げます。
納入は秋田県障害者スポーツ協会内秋田県障害者スポーツ指導者事務局へ直接、または郵便局に備え付けの用紙で納入できます。

納入先　記号番号　０２２１０－７－９４３９０
加入者名　秋田県障害者スポーツ指導者協議会

●平成23年度初級障害者スポーツ指導員養成講習会を終了され、新しく指導員となられました11名の方が当協議会に新会員として入会されました。

●平成24年度、定期総会開催が５月12日(土)に予定されております。詳細については後日ご連絡いたします。

編集後記

今回の発行に際しご協力頂きました皆様に心から感謝申し上げます。今後もご支援ご協力をお願いいたします。　（佐藤　涼子）